

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO武庫之荘校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日 ~ 2025年 2月 2日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	79名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 27日 ~ 2025年 2月 2日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 9日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースを利用した運動療育	広いスペースを生かした運動や療育を取り入れることで様々なアプローチを行うことができる。また、児童発達支援、放課後等デイサービスに寄り添った運動内容、プログラムを提供できるようにしている。	引き続き広いスペースを活用したプログラムを考えていきます。
2	利用者が楽しく運動に参加している	基本的な運動を取り入れつつ、指導員の特色に合わせた運動を取り入れることによって、利用者が楽しく運動に参加できるように工夫をしている。利用者も成功や失敗を繰り返す中で少しずつ体の使い方がうまくなっています。	運動する中で、繰り返し行う必要もあるが、利用者の反応も見ながら楽しんで運動に参加できるプログラムを考えていきます。
3	保護者の意見を取り入れた運動	モニタリングを行う中で保護者のニーズを明らかにすることで、個別支援計画に組み込む事で意識的に運動に取り組めるようにしています。また、送迎やLINEでの保護者対応の中で相談することで療育に幅が広げられるようにしています。	日々の情報共有が大切になると思うので保護者との信頼関係を築けるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が様子見に行く機会が少ない。また、学校園との情報共有の場が少ない	保護者からの要望で見学をすることはあるが、事業所から行うことがない。	日々の運動の様子をLINEで送付している。保護者、学校園、相談支援事業所等が見学すること自体は様子を見るうえで大切なことなので受け入れていく。また、学校園での様子を知るためには事業所側からアポイントを取る必要がある。
2	職員の異動や退職が多く、長期的な支援が難しい	職員の配置等で変わる可能性がある	保護者、利用者との信頼関係を築くためには、日々の会話が必要になるので、保護者、利用者共々の信頼関係を築いていくためには長いスパンを見て療育に取り組む必要がある。
3	保護者同士での交流の場がない	週七での利用のため中々時間を作ることが難しい	年に1回(夏休み期間等)に一日だけ利用者を募った座談会等を企画していく。また、地域でのコミュニティを紹介していく